

講義名	教養特講Ⅰ（モノの世界）		
科目区分	教養特講		
担当教員	李 志明		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
<p>世界はモノで作られており、モノの動きがないと会社と私達は生きることができない。世界的に感染症が流行っている今、モノの動きが益々重要となっている。本講義では、モノの動きについて、昔と現在と未来の視点から学修する。世界中の有名な古い建物には大きな石や木材などが使われているが、機械がなかった当時、大きなモノはどのように運ばれてきたのか。そして、スーパーなどで買えるモノはどの過程を経て私達の手に入るのか。さらには、3Dプリンター、ドローン、ロボットなどを使う時代にモノの世界はどのように変化するかについて議論していく。</p>

到達目標
<p>本講義では、モノの動きの重要性を理解したうえで、昔と現在と将来のモノの動きについて考察する。具体的には次のようである。</p> <p>①モノの動きの重要性を説明できる。 ②身近なモノの動きの経路について説明できる。 ③急変するモノの世界を予測してみる。</p>

提出課題
<p>昔と未来におけるモノの動きに関するレポート（2回予定） 授業内容に関する小テスト（3回）</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
<p>解説中心にフィードバックする。</p>

評価の基準
<p>1. レポート（40点：20X2回） 2. 小テスト（60点：20X3回）</p>

履修にあたっての注意・助言他
<p>2020年度前期は代替授業となります。「同時双方向型」をメインとし、必要によって「課題学修型」を取り入れます。</p>

教科書
<p>. 使用しない。</p>

プリント資料及び参考文献
<p>必要に応じて適宜配布する</p>

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> モノの世界の理解 モノの動きの重要性 歴史的なモノの世界 災害時のモノの世界 モノの動きと都市の発展 モノの動きと輸送手段 コンビニで見るモノの世界とその動き 町で見るモノの世界とその動き 国境を超えるモノの世界とその動き 国をまたぐモノの世界とその動き 少子高齢社会におけるモノの動き 話題のモノの世界 変化するモノの世界 変化するモノの動き まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<p><input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）</p> <p><input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</p> <p><input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> エ：グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク</p>

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と定められています。内訳は授業で毎回90分、予習・復習で毎回4時間です。授業中に案内する次回の内容についてネットなどを利用して3時間予習してください。そして1時間の復習をしてください。</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>授業中に学生の意見を聞きます。正解を求めるのではないので自分の意見を積極的に述べて下さい。また必要に応じてクリッカーでアンケートを実施します。</p>

実務経験の有無及び活用

備考